

自家農園産のシードルが人気 年間売り上げ300万円



岩手県の社会福祉法人悠和会の障害者就労継続支援B型事業所「ワークステージ 銀河の里」は、自家農園産リンゴ果汁100%のノンアルコールシードル（サイダー）を製造。

高齢・障害福祉関係6事業を運営する同会は、設立以来、「農業を基盤とした暮らしづくり」をテーマに障害者と高齢者が一緒に農作業したり、自家栽培した米や野菜などを食事で提供したりしてきた。2004年開所の銀河の里も農作業や食品加工をしている。

シードル製造のきっかけは、13年に高齢でリンゴ栽培ができなくなった農家から相談を受けたこと。「畑を引き継いで生果を売るだけでなく、付加価値の高い加工商品開発が必要」と、目を付けたのがシードルだった。

ノウハウも設備もない中県工業技術センターの協力により、特許製法の発酵技術を応用したアルコール度1%未満で、甘味料・香料・着色料・酸化防止剤無添加の商品開発に成功。助成金で設備を設置し製造を始めた。

シードルは、搾ったリンゴ果汁にワイン酵母を加えてタンクで発酵させた後、炭酸ガスを入れ、瓶詰めして完成。現在、5人が瓶洗い、瓶詰めなどの作業を担っている。

シードル製造を始めて3年。2ヘクタールの畑で栽培したジョナゴールド、紅玉、ふじを使った3種のシードル（250ミリリットル、3本セット1550円）を年間1万本生産し、300万円を売り上げる。1番人気の紅玉は、雑誌「ブルータス」の2017年ノンアルコールスパークリング部門で準グランプリを受賞。6月には全商品が売り切れる人気だ。

来年には日本財団の支援を受け、「花巻クラフトワイン・シードル特区」を活用した地域貢献型ワイナリー（B型事業所）を開設する。

今後は発泡酒のシードルやワイン作りにも挑むという。

～介護ビジネス研究会のご案内～

医療・介護・障がい福祉の経営者(幹部)のための隔月勉強会です。特別セミナーと勉強会(座学セミナーによる業界最新事例の+事例交換会)を基本とする経営塾です。

経営者様が抱える問題・疑問及び、他社はどのようにして解決しているのかを共有することで、自社のみならず、スタッフ・利用者・家族、地域にとっても有益な情報をご提供して参ります。

2019年度は3月の勉強会(テーマ:採用について)から隔月での開催を予定しております。開催が近づきましたらDMで詳細をお送り致しますので、是非ご参加ください。

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当: 苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL: 0120-337-301

FAX: 0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kriya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kriya@nodakensetsu.co.jp)

お問い合わせは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要